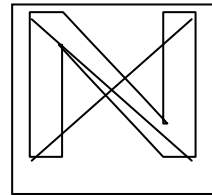


# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (安芸高田市立小田東小学校)

- ① 教科 算数科    ② 学年 第6 学年
- ③ 単元名 対称な形「形の特ちょうを調べよう」
- ④ 本時の目標 点対称の形の性質について、対称の中心や構成要素に着目して考え、まとめることができる。
- ⑤ 学習の流れ (5 時間目 / 全 12 時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)	
1 前時までの学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対応する点，対称の中心をおさえる。</li> <li>・ 線対称と同じように性質をまとめたことを想起させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 線対称の性質を参考に点対称の性質について考えている。</li> <li>〔数学的な考え方〕 (発表・ノート)</li> </ul>	
2 学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図を提示して対応する点，対称の中心を確認する。</li> </ul>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">点対称の性質②をまとめよう。</div>			
3 個別に課題解決にあたる。 ○ 図に補助線を入れながら点対称の性質を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対応する点をつなぐ直線と対称の軸との関係を「線対称の性質」としてまとめたことを想起させる。</li> <li>・ 対応する点をつないだ図を提示する。</li> <li>・ 線対称の性質のまとめに活用した「対称の軸」にかわり「対称の中心」を活用することをおさえる。</li> </ul>		
4 点対称の性質をまとめ、説明する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">まとめたことを説明しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対応する点をつなぐ直線は、「対称の中心と交わる」「対称の中心と重なる」「対称の中心を通る」等、表現の違い(算数用語の正確な理解と活用)に着目させ、どの表現が図形の性質を表現するためにふさわしいか考えさせる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性質を過不足なくまとめ説明している。</li> <li>〔数学的な考え方〕 (発表・ノート)</li> </ul>
5 まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「点対称な図形では、対応する点をつなぐ直線は対称の中心を通る。」「対称の中心から対応する点までの長さは等しくなっている。」の2点について確認する。</li> </ul>		
6 学習したことを生かして適用問題を解く。 7 解いた問題を説明して本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対称の中心と対応する点に着目させる。</li> <li>・ 本時のポイントを再確認する。</li> </ul>		



〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 対応する点と対称の中心との関係に着目して点対称の性質を考え、まとめ、説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 点対称な図形の図に補助線を記入させ、それを用いて自分の考えを説明させる。
- 「対応する点をつないだ直線」「対称の中心」「交わる」「重なる」「通る」などの用語と、図形の性質を確認しながら説明させる。